

博士・修士渡航助成 事後報告書

総合文化研究科 広域科学専攻 陳微

アメリカ音響学会 (ASA) は年に 2 回行われ、2022 年度 12 月の会議はミュージックシティと呼ばれるテネシー州ナッシュビルで開催されました。この学会は、「音」に関する理論的・実験的な研究成果を共有する場であり、音の測定や知覚から音源定位に関するデバイスの開発まで、幅広い分野の専門家と交流をはかる絶好な機会でした。本学会の初参加とはいえ、学術面でも文化面でもたくさん刺激を受けて、研究のモチベーションを高めることにつながるような、とても良い経験になりました。

会議自体に関しては、自分の専門分野に関して意見交換ができたことはもちろん、他分野の発表を聞くことで他の分野への興味が高まり、間接的に自分の研究に役立つ情報を収集できたと思います。動物の音声コミュニケーションの多様性に魅了され、特に小鳥の様々な鳴き声の機能に注目して研究を進めてきました。そこで、今回の ASA の動物音響学のセッションでは、ジュウシマツという小鳥の鳴き声における個体差について音響分析を行い、その結果を口頭発表しました。多くの研究者が興味を持ち、音響解析の手法から音声における個体差の可視化まで、今後の分析に役立つ具体的なアドバイスをいただきました。動物音声に関する研究は、基礎研究にとどまることが多いですが、今回の国際会議では、健康な個体から収集した音声データと、健康に異常が生じた際に発せられる音声とを比較することで、動物の発声による健康状態の評価を試みた研究発表が印象に残りました。音響分析の結果が動物福祉の分野で活用できる可能性について、これまで考えていなかった視点をもたらしてくれました。基礎研究がどのように応用につながるのか、再度考えさせられるきっかけとなりました。

発表以外の部分では、ASA が企画したイベントも存分に楽しむことができました。初めて参加するメンバーは SONIC プログラムに応募することができます。これは、ASA の楽しみ方を紹介してもらうためのプログラムであり、参加経験のあるメンバーが初めて ASA に参加する方をサポートするものです。一人で初めて ASA に参加しても、心細さを感じることなく、多くの社会的なつながりを築くことができました。また、音響学会というだけあって、音楽を趣味とする教員や学生の方々が多く参加していました。学会の参加者たちがバンドを結成し、MUSIC JAM というイベントで即興のライブ演奏を行うという特別な魅力がありました。もし ASA に参加する機会があれば、お持ちの楽器でぜひ演奏を披露してみてください。

この素晴らしい経験を可能にいただいた海外渡航助成の支援に心から感謝しています。初めての ASA 参加という大きなチャンスを与えていただき、学術的な成長だけでなく、新たな文化や国際的な研究者とのつながりを築く機会を提供していただきました。この機会のおかげで、音響学の世界で広く知られるような貴重な体験をすることができました。



ポスター発表の様子



SONIC プログラムのベテランメンバーとカントリーミュージック殿堂博物館に見学した